

5-14 富士山における傾斜変動観測

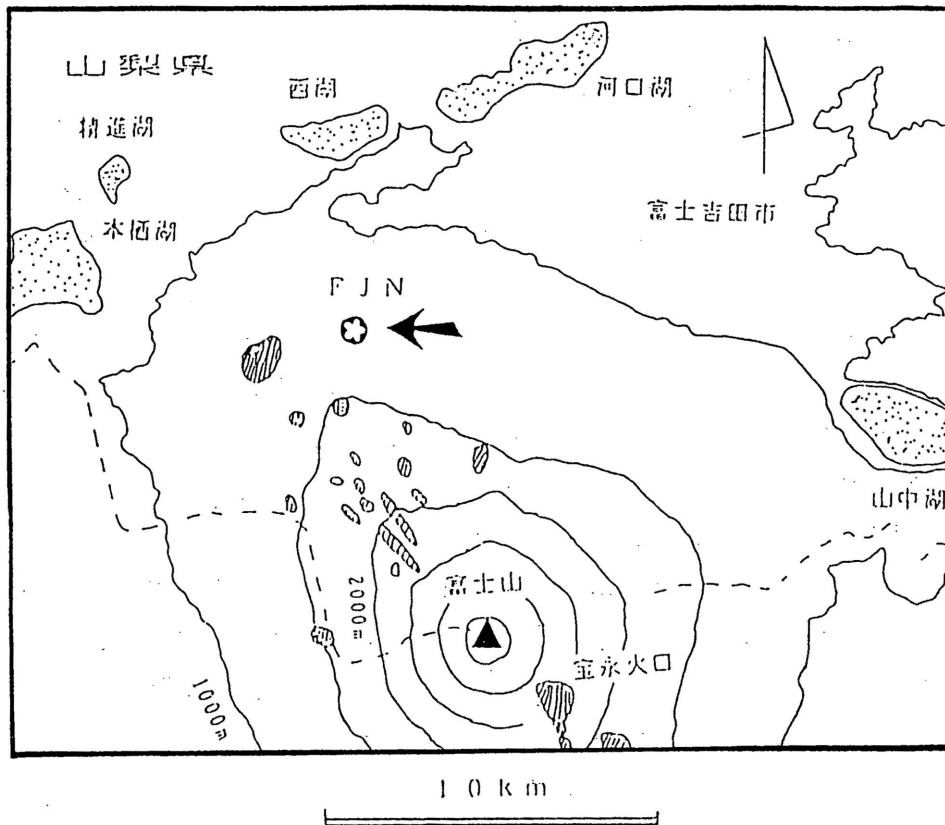
Tilt change observation at Mt. Fuji

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

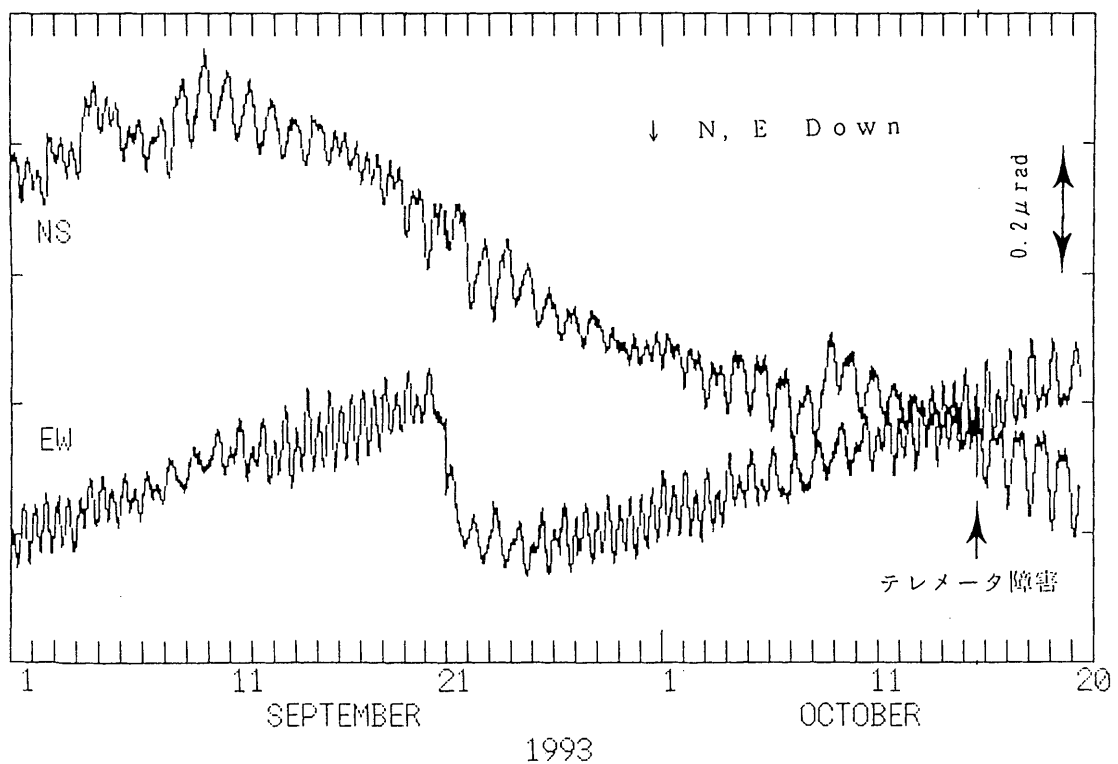
防災科学技術研究所では富士山の山頂から北北西に約10kmの地点にある富士鳴沢火山活動観測施設（観測点コードFJN，緯度35.4431°N，経度138.6939°E，標高1250m，傾斜計設置深度201m）において，ボアホール式傾斜計による傾斜変動観測を1991年12月より実施している（第1図）。第2図に1993年9月から10月にかけての10分値データを示す。地球潮汐の見掛けの振幅は約0.15 μ radである。9月20日の東西成分に見られる約0.2 μ radのステップ状の変化は、ボアホール近傍を含む観測系によるものと考えられる。第3図に24時間の移動平均による日平均値の1992年8月から1993年10月のデータを示す。1993年1月以降のドリフトは南北，東西両成分とも5 μ rad/年程度である。1993年4月以降の日平均値について，ドリフトを直線で近似して除去したデータを日雨量とともに第4図に示す。日雨量が100mmを越えるとき，あるいは数日間の積算雨量が100mmを越えるような時に，南北成分に0.1~0.15 μ rad程度の傾斜変化が現れる。東西成分への降雨の影響は南北成分より小さい。

（鷓川 元雄）



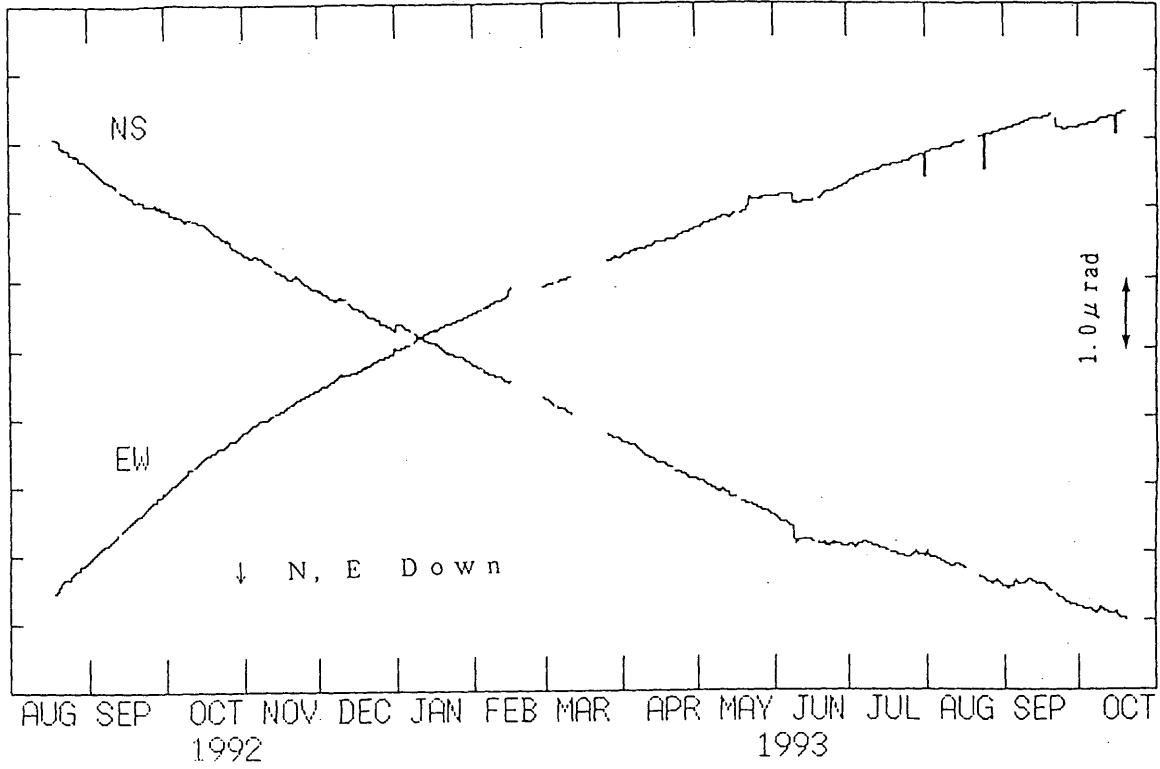
第1図 富士鳴沢火山活動観測施設の位置

Fig.1 Map showing location of Fuji-Narusawa volcano observational station (FJN).

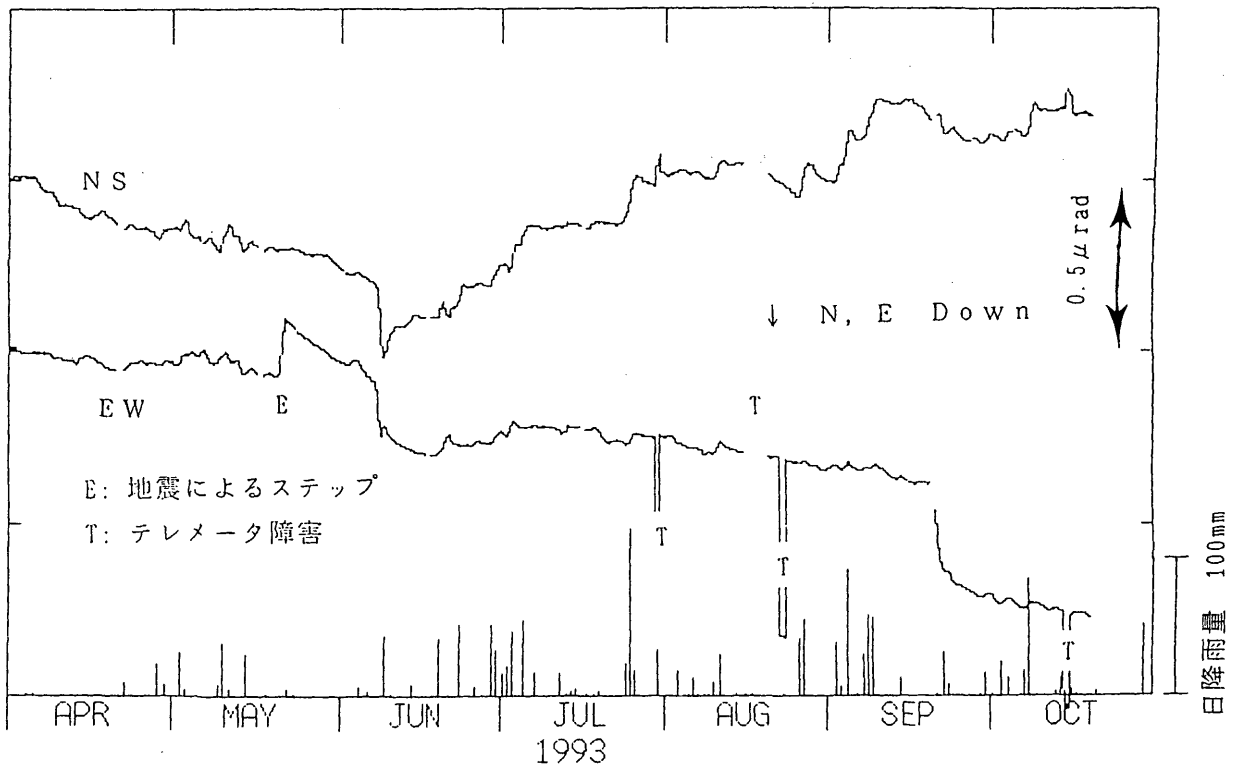


第2図 1993年9月1日～10月20日の傾斜変動10分値データ

Fig.2 Tilt change data of 10-min-median value for the period from Sep. 1-Oct. 20, 1993.



第3図 1992年8月～1993年10月の傾斜変動の日平均値
 Fig.3 Daily averaged tilt change from Aug. 1992—Oct. 1993.



第4図 ドリフトを除去した傾斜変動の日平均値 (1993年4月～10月)
 Fig.4 Daily averaged tilt change without drift components from Apr.—Oct. 1993.